

学位論文審査結果の要旨

博士課程 ①・乙	第 418 号	氏名	野村 郁夫
審査委員		主査氏名	中里 相光
		副査氏名	西頭 英起
		副査氏名	伊達 紫
<p>【論文題名】</p> <p>Increased plasma levels of the mature and intermediate forms of adrenomedullin in obesity. <i>Regul Pept</i> 2009; 158: 127-131</p> <p>【要旨】</p> <p>宮崎県清武町検診を受診した地域住民を対象に血中の中間型アドレノメデュリン (AM) および成熟型 AM の濃度を計測し、各種臨床データとの関連を検討した。肥満者では非肥満者と比較して、収縮期血圧 (SBP)、拡張期血圧 (DBP)、空腹時血糖値、血中インスリン、HDL コレステロール、中性脂肪 (TG)、HOMA 指数、血漿総 AM、中間型 AM、成熟型 AM が有意に高値で、成熟 AM および中間型 AM と BMI、SBP、DBP、TG との間に有意な相関を認め、さらに、成熟型 AM は年齢と、中間型 AM は血清クレアチニン値と有意に相関していた。</p> <p>重回帰分析により、成熟型 AM 濃度の説明変数は BMI ($p < 0.006$) と TG ($p < 0.022$) が、中間型 AM 濃度の説明変数は DBP ($p < 0.001$)、インスリン濃度 ($p < 0.008$)、HDL コレステロール濃度 ($p < 0.006$)、血漿レニン活性 ($p < 0.005$) であることが同定された。</p> <p>AM が高血圧やインスリン抵抗性等の肥満に関連した病態に対して拮抗する役割を果たしている可能性が示唆された。</p>			